

平成 26 年度

岩手医科大学 教養教育センター

授業評価報告書

教養教育センター 教育評価研修専門委員会

目次

1.	はじめに	1
2.	岩手医科大学教養教育センター授業評価 内規・要領	2
3.	実施結果	5
	□ 「学生による評価」平均ポイント	
	● 「教員の評価」総合	
	● 「教員の評価」評価実施時期別（前期・後期）	
	● 「教員の評価」専門・教養別ポイント	
	● PBL	
	● 「科目全体の評価」	
	□ 平成 26 年度 Best Teacher/Best Class	
4.	結果の解析	15
	□ 学部別総合評価ポイント	
	□ 評価人数と総合評価ポイントの相関	
	□ 総合評価ポイント分布	
5.	参考資料	19
	□ 評価マークシート	
	学生による教員の評価/教員による講義・実習の評価/学生による科目全体の評価	
	□ 第 1 学年授業科目一覧	

はじめに

教養教育センター

教育評価研修専門委員長 江尻 正一

近年、教育機関に授業評価システム確立の必要性が認識されつつある。授業評価システムとは、学生の動機付けや学力向上・維持のために、組織的、計画的に授業を改善する一連の支援体制である。現在、授業評価システムとして、その目的のために PDCA サイクル（授業計画、授業実施、授業評価、授業改善）を繰り返すこと、そしてそれを支え、動かす仕組みが大いに検討されている。このように授業評価は、今まで浸透してきた認識を超えて、授業評価システムを構成する PDCA サイクルの要となる段階として認識され、重要視されている。このような観点では、授業評価なしでは PDCA サイクルを構成できず、授業評価システムを確立できない。ここに如何に有効な授業評価を行うべきかの従来の課題がある。逆に、授業評価だけでも成り立たない。ここに如何に授業評価を生かして授業改善に繋げて、PDCA サイクルを動かし、授業評価システムを構成するか、各レベルでの種々の課題がある。

授業評価の方法について、ご存じのように、最初に挙げるべき根本的な従来の課題は、誰が授業を観測して評価するかにある。授業評価を行うためには授業をより客観的に観測しなければならない。授業を構成する被観測者である受講生や担当教員が評価すれば有益な情報量がとても多いが、より主観的になりやすい。また、授業担当者外による第三者であれば、より客観的になると考えられるが、授業観測による評価者の負担増、観測による授業への影響等々が推し量られる。これらに対して授業の録画が勧められているが、その有効性は、やはり評価者に依存して、程度の問題であり、記録によって新たな課題を生じる。複数で授業評価者が決まったとしても、どの部分を抽出して、どのような物差しで測定するのか、そもそも抽出可能か、数値化可能かなどの評価項目、評価基準設定等々の課題が続く。また、要素還元主義的な評価法についても議論しなければならない。このように通常の授業評価だけでも多くの解決すべき困難が伴う。

ここに授業改善のために先達者たちが大いに苦心して作り上げた授業評価がある。ここに多くの教職員と学生達の協力によって得られた貴重な授業評価がある。成績評価と共に、この授業評価報告書が、授業担当者に対して、授業内容の見直し、気付きそして授業改善に大いに生かされる一助となることを切に希望する。過去の授業評価報告書に加えて本報告書が、本センター関係教職員に対して、今後の授業評価自体（中間調査、質問項目等）の改善も含めて、授業改善の段階に繋いで、PDCA サイクル、授業評価システムの確立への一助となることを希望する。そして本センターの教育評価（教育理念に基づく教育力評価）の一助となることを希望する。同時に授業評価および授業評価報告書の改善に向けて広く御批正を乞い、提言をお願いする次第である。

最後に、授業評価報告書が完成できたことに皆様強く感謝の意を表したい。

2015 年 3 月

教養教育センター授業評価に関する内規

(目的)

第 1 条 教養教育センター授業評価(以下「授業評価」)は、教育の合理的・効率的実施と教育環境の経時的・合目的改善と外部評価に耐えうる教育の自主的評価の確立を目的とする。

(運営)

第 2 条 授業評価は、教養教育センター委員会(以下「センター委員会」)および教養教育センター教育評価研修専門委員会(以下「教育評価委員会」)が運営する。

(評価)

第 3 条 授業評価は教養教育センター所属の全教員を対象とする。

- 2 各学部第 2 学年以上で担当する科目に係る授業評価実施の諾否は、当該教員の承諾があれば教養教育センター長(以下「センター長」)および教育評価委員長の許可を必要としない

(評価の解析と開示)

第 4 条 評価用紙、調査結果の解析は教育評価委員会が行う。

- 2 調査結果・解析結果(以下「結果等」)は、センター長および教育評価委員長が当該科目の科目担当責任者及び当該教員に通知する。ただし、結果等は教員の勤務評定・学生の成績評価に影響を与えるものではない。
- 3 評価の高い教員(非常勤講師を含む)については、当該教員の了承を得た上で結果等を公表し表彰する。
- 4 評価用紙に記入した学生の氏名等は被評価者(当該教員)には公表しない。
- 5 評価用紙、結果等を基にした学生が不利益となる行為、また、講義・実習担当者が不利益となる行為は禁止する。
- 6 評価を実施した教員以外の者、各学部の教務委員会・部会等から結果等の開示・使用依頼がある場合は、教育評価委員会およびセンター委員会の議を経たうえで提供することができる。

(管理)

第 5 条 評価用紙、結果等の管理責任者はセンター長とする。

- 2 評価用紙、結果等の管理・保管は矢巾キャンパス教務課が行う。

(保存)

第 6 条 結果等の保存期間は 10 年とする。

(改廃)

第 7 条 この内規の改廃は、センター委員会の議を経て行う。

附則 この内規は平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

附則 この内規は平成 23 年 4 月 1 日から施行する。(平成 23 年 5 月 25 日 一部改正)

附則 この内規は平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

教養教育センター授業評価実施要領

1. 目的

- 1) 教育の合理的・効率的実施と教育環境の経時的・合目的改善
- 2) 外部評価に耐えうる教育の自主的評価の確立

2. 実施項目

- 1) 学生による講義・実習評価(対象:全学生)
- 2) 教員による講義・実習評価(対象:全授業担当教員)
- 3) 科目全体の評価(対象:原則として複数科で担当する科目および実習科目とする。ただし、希望があればその限りではない。)

3. 実施方法

- 1) 授業評価は、原則として全授業担当教員と全演習・実習科目について実施する。
- 2) 授業評価の実施回数ならびに日時は、次にあげる者が決定する。
 - ① 講義科目については各担当教員
 - ② 複数の教員で担当する演習・実習科目についてはその科目責任者
- 3) 「学生による教員の評価」と「教員による講義・実習の自己評価」は統一した評価用紙を用いて記名式で同時に行う。
- 4) 授業評価は、原則として当該授業科目の授業時間内に実施する。
- 5) 科目全体の評価を除く講義科目については、原則としてその科目の講義担当者の評価、実習についてはその科目の評価を行う。
- 6) 科目全体の評価については、その科目全体の総合的な評価を記入する。
- 7) 実習については、その科目の全実習の総合的な評価を原則とするが、実習領域別に担当者や科で分担している場合にはその分担範囲毎に行う。
- 8) 学生からの評価用紙は、講義・実習とも講義室に設置してある回収箱に学生個々が直接提出する。
- 9) 教員の評価用紙の回収も前項と同様に講義室の回収箱に提出する。
- 10) 評価用紙(学生及び教員分)は、講義については授業実施教員に、演習・実習については科目責任者に事前に配布する。
- 11) 評価はマークシート方式を用いて行う。
- 12) 集計作業は矢巾キャンパス教務課が行う。
- 13) 調査結果の解析は教養教育センター教育評価研修専門委員会(以下「教育評価委員会」)が行う。調査結果・解析結果(以下「結果等」)の概要は、前期及び後期終了時に教育評価委員会及び教養教育センター委員会に報告する。
- 14) 結果等は、当該授業評価終了の都度担当教員と科目責任者に通知しフィードバックを図る。但し、個々の学生の評価内容は教員へは通知しない。
- 15) コメント欄に記載された事項は解析の対象とせず、当該講義担当者と科目責任者(演習・実習の場合は科目責任者のみ)に通知し、フィードバックを図る。
- 16) 評価用紙、結果等の管理責任者は教養教育センター長とし、その管理・保管は矢巾キャンパス教務課が第三者に漏洩しないよう、また、目的以外に使用されないよう適切に管理する。

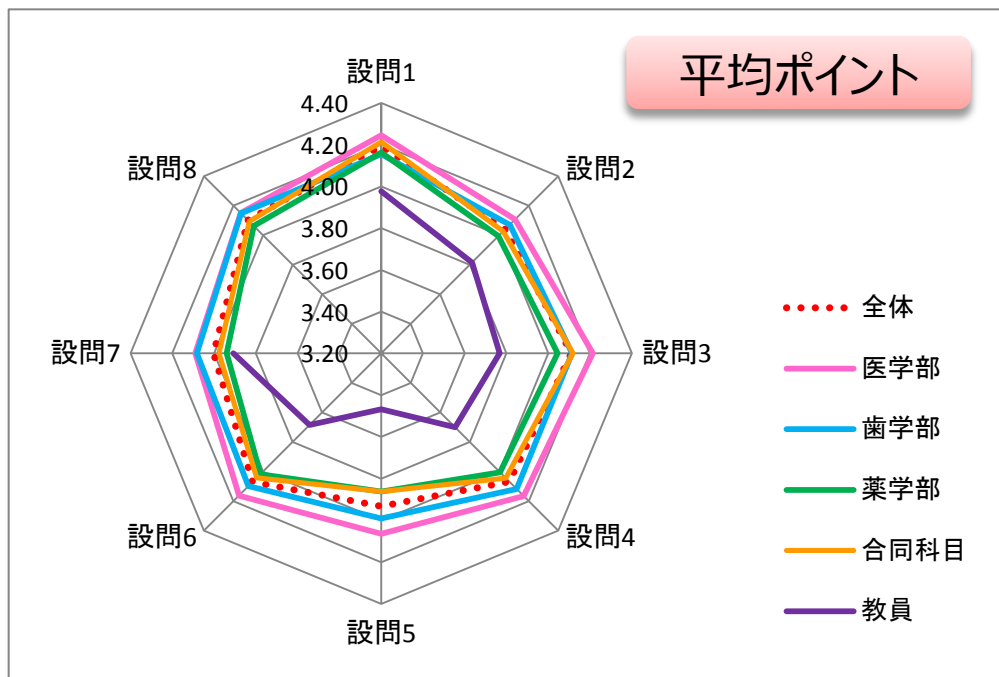
実施結果

□「学生による評価」平均ポイント

- ・「教員の評価」総合
- ・「教員の評価」評価実施時期別（前期・後期）
- ・「教員の評価」専門・教養別ポイント
- ・PBL
- ・「科目全体の評価」

□平成 26 年度 Best Teacher/Best Class

『学生による教員の評価』 総合結果



	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	人数(名)	科目数 (延べ)
全体	4.19	4.04	4.11	4.07	3.93	4.07	4.00	4.10	14,343	178
医学部	4.24	4.11	4.21	4.17	4.06	4.16	4.09	4.15	4,066	49
歯学部	4.15	4.07	4.11	4.12	3.99	4.10	4.08	4.15	1,408	42
薬学部	4.16	3.99	4.04	4.01	3.86	4.02	3.94	4.06	6,447	52
合同科目	4.21	4.03	4.12	4.04	3.86	4.04	3.98	4.09	2,422	35
教員	3.98	3.82	3.77	3.70	3.47	3.68	3.91		168	

【評価設問項目】

- 設問1 講義はよく準備がなされていたか。
- 設問2 講義の構成と質(程度・内容・量)はどうだったか。
- 設問3 学生への接し方はどうだったか。教育に対する熱意が感じられたか。
- 設問4 話し方はどうだったか。
- 設問5 学習意欲が刺激されたか。
- 設問6 この授業に対する総合評価を示してください。
- 設問7 自身の受講態度はどうだったか。授業に積極的に参加したか。
- 設問8 この科目をこの学年のこの時期に行うことは適切か。

【全体に対するコメント：学生】

(特になし)

【全体に対するコメント：教員】

(特になし)

> 前期期間に評価を実施した科目一覧
 (合計37科目)

医学部	歯学部	薬学部	複数学部合同科目
ESL	ESL	情報科学	PBL
健康運動科学	基礎歯学入門	ESL	化学実習(解説)
心理学	健康運動科学	情報科学	医療とコミュニケーション
	心理学	基礎薬学2	文学の世界
		エッセンシャル生物	科学英語
		基礎薬学1	医療における社会・行動科学
		基礎数学	医療とスポーツ
			ベーシック生物
			アドバンスト生物
			ベーシック物理
			ベーシック化学
			パーソナリティ心理学
			現代社会と法律
			英米文化考
			アドバンスト化学
			基礎数学演習
			医療と物語
			学びのための知的技法
			実践英語
			生命倫理学
			情報リテラシー
			法学
			ベーシック数学

【全体に対するコメント：学生】

なし

【全体に対するコメント：教員】

なし

> 後期期間に評価を実施した科目一覧
 (合計41科目)

医学部	歯学部	薬学部	複数学部合同科目
細胞生物学Ⅱ	専門課程への化学	基礎薬学4	力学と電磁気学
専門課程への化学	生化学	細胞生物学入門	物理学
基礎微生物学・基礎免疫学	ESL	くすり600選を学ぶ	医療とコミュニケーション
ESL	専門課程への生物学	基礎物理学	パーソナリティ心理学
医科生理学	組織学	基礎化学	医療と法律
基礎組織学	生理学(歯)	法学	哲学の世界
分子医化学	基礎歯学入門	生命倫理学	
カウンセリング論	解剖学	有機化学入門	
数理統計学	数理統計学	分析化学入門	
ERW	ERW	生化学入門	
		基礎薬学3	
		ERW	
		健康運動科学	
		心理学	
		基礎生物学	

【全体に対するコメント：学生】

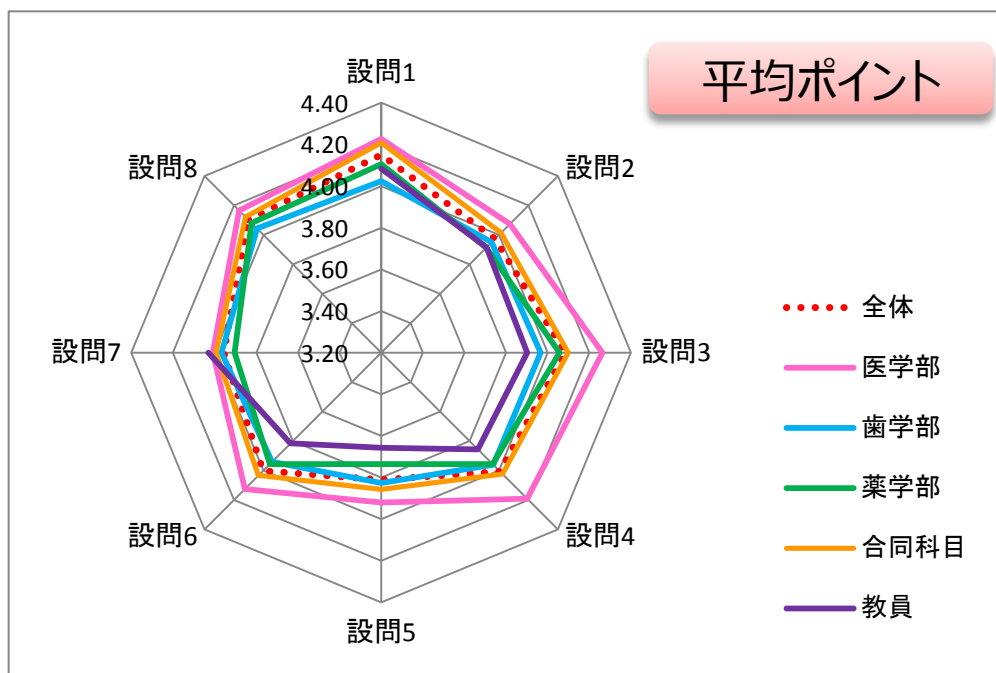
なし

【全体に対するコメント：教員】

なし

(総計78科目)

『学生による教員の評価』前期結果



	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	人数(名)	科目数 (延べ)
全体	4.15	3.97	4.08	4.01	3.81	4.00	3.96	4.10	4,677	72
医学部	4.23	4.07	4.26	4.19	3.92	4.13	4.01	4.17	460	9
歯学部	4.02	3.95	3.97	3.96	3.83	3.94	3.97	4.04	467	15
薬学部	4.10	3.91	4.06	3.96	3.74	3.96	3.90	4.08	1,879	23
合同科目	4.21	4.01	4.10	4.03	3.86	4.03	3.99	4.12	1,871	25
教員	4.08	3.92	3.90	3.86	3.66	3.82	4.03		71	

【評価設問項目】

- 設問1 講義はよく準備がなされていたか。
- 設問2 講義の構成と質(程度・内容・量)はどうだったか。
- 設問3 学生への接し方はどうだったか。教育に対する熱意が感じられたか。
- 設問4 話し方はどうだったか。
- 設問5 学習意欲が刺激されたか。
- 設問6 この授業に対する総合評価を示してください。
- 設問7 自身の受講態度はどうだったか。授業に積極的に参加したか。
- 設問8 この科目をこの学年のこの時期に行うことは適切か。

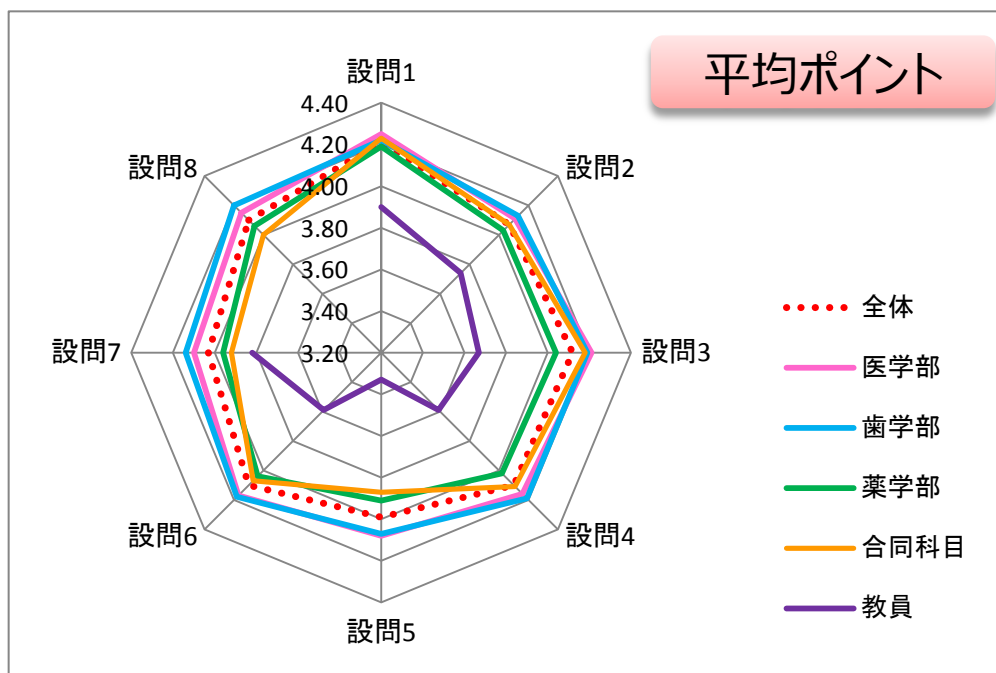
【全体に対するコメント：学生】

(特になし)

【全体に対するコメント：教員】

(特になし)

『学生による教員の評価』後期結果



	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	人数(名)	科目数(延べ)
全体	4.21	4.07	4.12	4.10	3.99	4.10	4.03	4.10	9,666	106
医学部	4.25	4.11	4.21	4.16	4.08	4.17	4.10	4.15	3,606	40
歯学部	4.22	4.13	4.19	4.19	4.07	4.18	4.14	4.20	941	27
薬学部	4.19	4.03	4.04	4.02	3.91	4.04	3.96	4.06	4,568	29
合同科目	4.23	4.07	4.18	4.11	3.87	4.07	3.92	4.00	551	10
教員	3.90	3.74	3.67	3.59	3.33	3.59	3.82		97	

【評価設問項目】

- 設問1 講義はよく準備がなされていたか。
- 設問2 講義の構成と質(程度・内容・量)はどうだったか。
- 設問3 学生への接し方はどうだったか。教育に対する熱意が感じられたか。
- 設問4 話し方はどうだったか。
- 設問5 学習意欲が刺激されたか。
- 設問6 この授業に対する総合評価を示してください。
- 設問7 自身の受講態度はどうだったか。授業に積極的に参加したか。
- 設問8 この科目をこの学年のこの時期に行うことは適切か。

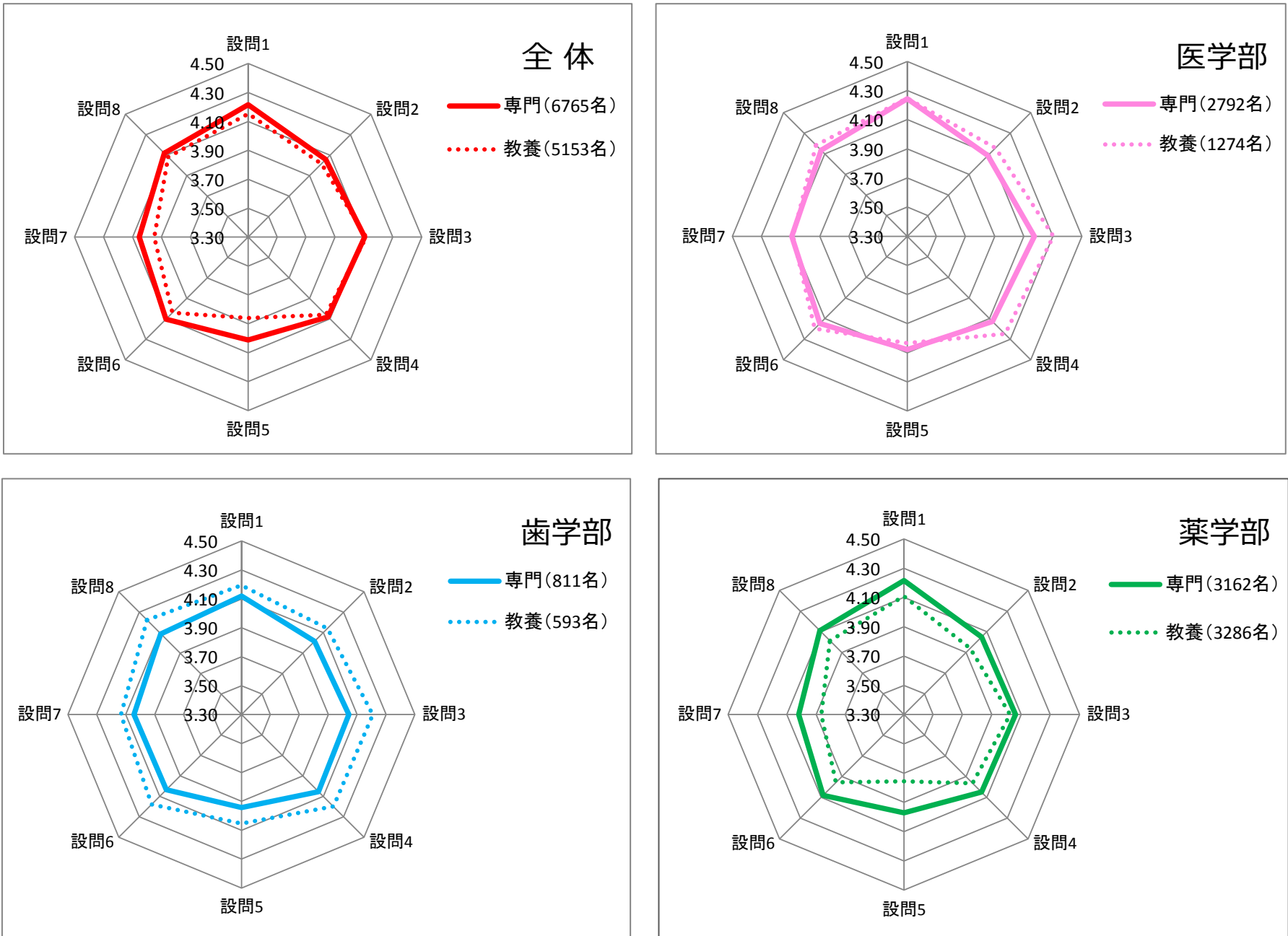
【全体に対するコメント：学生】

(特になし)

【全体に対するコメント：教員】

(特になし)

『学生による教員の評価』 専門科目・教養科目別集計



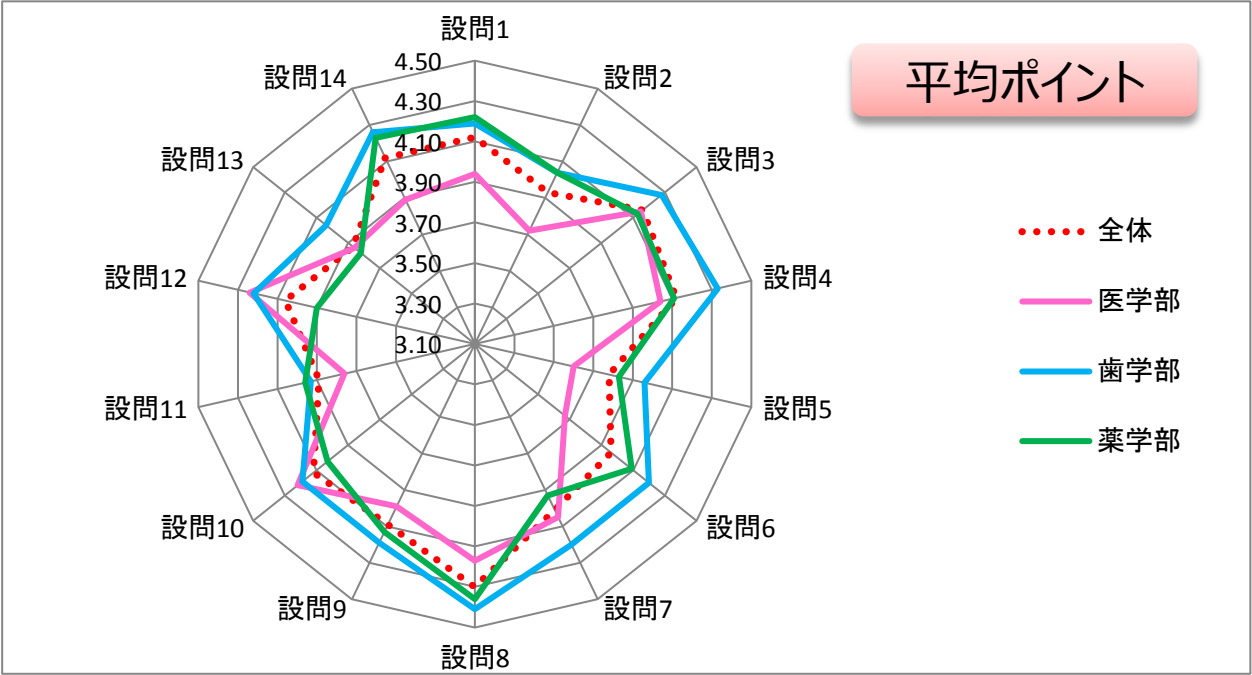
		設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	人数（人）
全体	専門	4.22	4.06	4.11	4.08	4.01	4.10	4.05	4.12	6,765
	教養	4.15	4.02	4.12	4.06	3.86	4.04	3.95	4.08	5,153
医学部	専門	4.24	4.08	4.17	4.13	4.08	4.15	4.09	4.14	2,792
	教養	4.25	4.16	4.30	4.25	4.03	4.20	4.08	4.18	1,274
歯学部	専門	4.12	4.02	4.04	4.05	3.94	4.04	4.04	4.09	811
	教養	4.19	4.14	4.21	4.20	4.05	4.18	4.13	4.22	593
薬学部	専門	4.22	4.05	4.06	4.05	3.97	4.08	4.02	4.11	3,162
	教養	4.11	3.94	4.03	3.96	3.76	3.96	3.86	4.01	3,286

※教養科目の「複数学部合同科目」は計上していません。
※専門科目には、複数学部合同で実施する科目はありません。

【評価設問項目】

- 設問1 講義はよく準備がなされていたか。
- 設問2 講義の構成と質（程度・内容・量）はどうだったか。
- 設問3 学生への接し方はどうだったか。教育に対する熱意が感じられたか。
- 設問4 話し方はどうだったか。
- 設問5 学習意欲が刺激されたか。
- 設問6 この授業に対する総合評価を示してください。
- 設問7 自身の受講態度はどうだったか。授業に積極的に参加したか。
- 設問8 この科目をこの学年のこの時期に行うことは適切か。

平成26年度 第1学年PBL実施結果



	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11	設問12	設問13	設問14	人数(名)
全体	4.12	3.93	4.16	4.12	3.78	3.96	4.01	4.30	4.09	4.12	3.89	4.06	3.87	4.12	366
医学部	3.94	3.72	4.15	4.04	3.60	3.67	4.05	4.17	3.99	4.22	3.76	4.24	3.86	3.89	125
歯学部	4.19	4.04	4.28	4.33	3.96	4.20	4.20	4.41	4.19	4.19	3.93	4.22	4.04	4.26	54
薬学部	4.22	4.04	4.13	4.11	3.83	4.09	3.93	4.36	4.13	4.03	3.96	3.90	3.82	4.23	187

【評価設問項目】

- 設問1 講義はよく準備がなされていたか。
設問2 講義の構成と質(程度・内容・量)はどうだったか。
設問3 学生への接し方はどうだったか。教育に対する熱意が感じられたか。
設問4 話し方はどうだったか。
設問5 学習意欲が刺激されたか。
設問6 この授業に対する総合評価を示してください。
設問7 自身の受講態度はどうだったか。授業に積極的に参加したか。
設問8 KJ法を使用して問題抽出ができたか
設問9 効果的なプレゼンテーションができたか。
設問10 グループでの自分の役割を遂行できたか。
設問11 必要な情報を図書館やインターネットを使用して収集し、活用できたか。
設問12 積極的に作業・議論に参加できたか。
設問13 自己学習能力が向上したか。
設問14 今回のテーマは有意義だったか。

学生のコメント

- ・自分の意見をしっかり持ち、みんなをまとめられるよう、一人一人取り組んでいきたい。
- ・協力することを学びました。ありがとうございました。
- ・KJ法など問題抽出の仕方を統一してしまったことがあって、グループ差のない単調な発表にしまった。
- ・今までよく知らなかった薬害について深く考える機会をもててよかった。
- ・発表準備をもっとしっかりやるべきだった。
- ・自分から積極的に事前調査を早期から行い、PCの苦手意識をなくしたい。
- ・もう少し早く色々な情報がほしかった。A4横書きなど。
- ・テーマをいくつか用意してわりふって発表を行うべき。後半あきる。
- ・最初のガイダンスの時点で何をしていけばいいのかよく分からなかった。去年の例があるならばそれを見せて欲しかった。
- ・もう少し具体的な問題にしてほしい。
- ・少なくとももう少し身近な話題を。
- ・積極的に任務をこなすことができてよかった。
- ・グループごとにあたりはずれがあると思いました。
- ・正直な所、討論の仕方も分からずにこうしたグループ学習を行うのは意味がないと思うし、あまり役に立ったとは思えない。
- ・コミュ力大切。
- ・PBLを通じて、以前より人前で自発的に意見を述べられるようになった。
- ・今回のPBLで他学部との交流があってよかった。
- ・薬害について学ぶことができ、とても勉強になった。
- ・KJ法や2次元展開法のやり方をもう少し説明してほしかった。
- ・皆協力しあい、発表に臨めた。
- ・他のグループのレベルの高いプレゼンにとっても驚き、また自分達は努力が足りないと思った。
- ・医療従事者になる者として、薬害について調べることができて良かった。
- ・今回の講義を通して、薬害について興味が湧き、個人的に色々調べた。
- ・他の学部との交流もできていい機会となった。

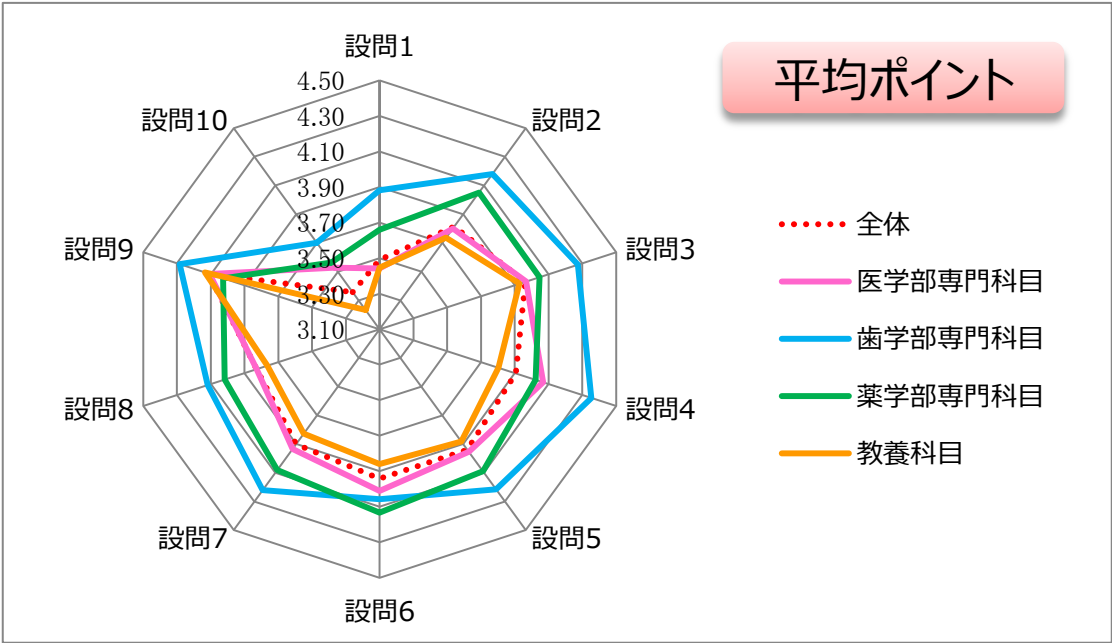
- ・医・歯の人との交流や初対面の人と話し合いができて有意義なものになった。
- ・〇〇先生の質問が痛いところをついてきたので、次はしっかり答えられるようにしたい。
- ・授業の目的が議論をすることになっているが、議論は目的を実現するための手段であって目的にはならないことを理解している人が少ないのは問題だと思う。
- ・自分たちのグループは他のグループに比べて調べ不足、討論不足なところが多かった。
- ・〇〇先生が優しくかった。
- ・〇〇が良かった。
- ・医・歯・薬と一緒に授業を行うという。、大変、有意義かつ楽しい時間を過ごすことができた。
- ・有意義な話し合いができてよかったです。
- ・たのしかった。

今後のテーマとして興味のあるもの

- ・大学について
- ・患者と医療従事者の関係
- ・患者に対するそれぞれの医療者の対応
- ・医療サポートシステム(ex.電子カルテ)
- ・死因解明について
- ・日本と外交について
- ・テレビ診断(遠隔)、地域医療
- ・地域医療の在り方
- ・より良い医療を行うにはどうすべきか。
- ・先端医療技術関係
- ・医学の勉強
- ・いじめ、教育問題について
- ・学校教育といじめ問題
- ・スポーツ
- ・災害医療
- ・医療と戦争の歴史
- ・ゆとり教育を受けて、これからの国の教育について
- ・チーム医療について(7件)
- ・患者との接し方、コミュニケーション能力の重要性
- ・iPS、出生前診断
- ・どうしたら人々を救えるか
- ・政治的な内容
- ・大学のあり方について、日本の医師の専門医のあり方について、歯科医のこれから
- ・出生前診断、医学部新設(難関をくぐりぬけたからこそ)、被災地医療
- ・医療ミス
- ・医療ミスに対する社会制度
- ・意見やメインになりそうな内容が多い方が各班で差や違いが出ておもしろいと思う。
- ・薬剤師の仕事について
- ・国と製薬会社の正しい付き合い方
- ・本を読むことの意義について

『学生による科目全体の評価』結果【総合】

「科目全体の評価」は、複数科(講座)にまたがる教員によって実施される科目および実習科目のほか、科目担当責任者が希望する講義科目において実施されます。



	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	人数
全体	3.49	3.81	3.96	3.91	3.94	3.94	3.90	3.83	4.11	3.36	3,048
医学部専門科目	3.44	3.80	3.97	4.07	3.95	4.01	3.93	3.83	4.11	3.53	609
歯学部専門科目	3.88	4.18	4.27	4.35	4.22	4.06	4.22	4.12	4.29	3.70	51
薬学部専門科目	3.66	4.05	4.05	4.02	4.09	4.13	4.08	4.02	4.03	3.56	547
教養科目	3.45	3.74	3.93	3.80	3.88	3.86	3.83	3.77	4.14	3.23	1,841

➤ 設問

講義について	問1	内容に対する時間数は多かったか少なかったか。
	問2	科目全体は系統だったか。
	問3	全体を通して、講師の質・講義に対する姿勢は良かったか。 (良い・悪い教員について具体的氏名があげられる場合は自由記載欄に記入してください。)
	問4	最新の知見・知識に触れることができたか。
	問5	資料は適切だったか。 (良い・悪い具体的事例があげられる場合は自由記載欄に記入してください。)
	問6	この科目をこの学年のこの時期に行うことは適切か。 (不適切と思う場合は、どこで行うのが効果的と思うかをできるだけ自由記載欄に記入してください。)
	問7	この科目の総合的な評価を示してください。
自己反省	問8	科目全体の統合した知識が身についたか。
	問9	講義(実習)に積極的に参加したか。
	問10	予習・復習を行ったか。

➤ 実施科目一覧

専門科目			教養科目		
医学部	歯学部	薬学部	医・歯合同	3学部合同	薬学部
医療入門	組織学実習	基礎薬学Ⅳ	化学実習	自然・文化人類学	情報科学演習
細胞生物学Ⅰ		薬学入門	生物学実習		アカデミックリテラシー
細胞生物学Ⅱ		生化学入門	エッセンシャル生物		生物学実習
骨学			アカデミックリテラシー		物理学実習
基礎微生物学・基礎免疫学			物理学実習		化学実習

平成26年度 教養教育センターBest Teacher/Best Class

- ✦「学生による教員の評価」設問6(“この授業に対する総合評価を示してください”)
教養教育センターBest Teacherとして顕彰します。
- ✦同一教員が、同一科目で評価を複数回行っている場合や同一科目をクラス分けして実施している場合は、その全てを平均した結果を用いています。
- ✦これまでの実施結果から、評価の実施時期によってポイントに差が出ることがわかっているため、可能な限り評価実施を各講義の最終回に設定するよう依頼し、実施時期によるポイント差の是正を図りました。
また、これまでの実施結果からは、設問6の評価ポイントは他の設問評価ポイントとも高い相関を示すという結果も得られています。

医学部

(対象科目数:48)

順位	所属	教員氏名	科目名	ポイント	評価人数
1	外国語学科英語分野		ESL(M)	4.60	28.9
2	化学科		専門課程への化学	4.51	121
3	解剖学講座細胞生物学分野		基礎組織学	4.49	123
次点	外国語学科英語分野		ESL(M)	4.48	30

歯学部

(対象科目数:42)

順位	所属	教員氏名	科目名	ポイント	評価人数
1	解剖学講座(機能形態学分野)		基礎歯科学入門	4.80	50
2	教養教育センター(外国語分野(英語学科))		ESL(D)	4.56	12.5
3	外国語学科英語分野		ESL(D)	4.54	11.8
次点	教養教育センター(外国語分野(英語学科))		ESL(D)	4.50	12.3

薬学部

(対象科目数:52)

順位	所属	教員氏名	科目名	ポイント	評価人数
1	外国語学科英語分野		ESL(P)	4.62	23.5
2	教養教育センター(外国語分野(英語学科))		ESL(P)	4.53	23.3
3	教養教育センター(外国語分野(英語学科))		ESL(P)	4.49	24
次点	衛生化学講座		基礎薬学1	4.47	187

複数学部合同科目

(対象科目数:35)

順位	所属	教員氏名	科目名	ポイント	評価人数
1	物理学科		力学と電磁気学	4.80	15
2	化学科		ベーシック化学	4.75	44
3	人間科学科法学分野		現代社会と法律	4.49	106
次点	化学科		アドバンスト化学	4.47	101

Best Class (科目全体の評価)

(対象科目数:20)

順位	所属	科目名	ポイント	評価人数
1	微生物学講座(感染症学・免疫学分野)	基礎微生物学・基礎免疫学	4.33	122
2	生物学科	生物学実習	4.26	183
3	解剖学講座(発生生物・再生医学分野)	組織学	4.22	50
次点	生体防御学講座	生化学入門	4.16	187



結果の解析

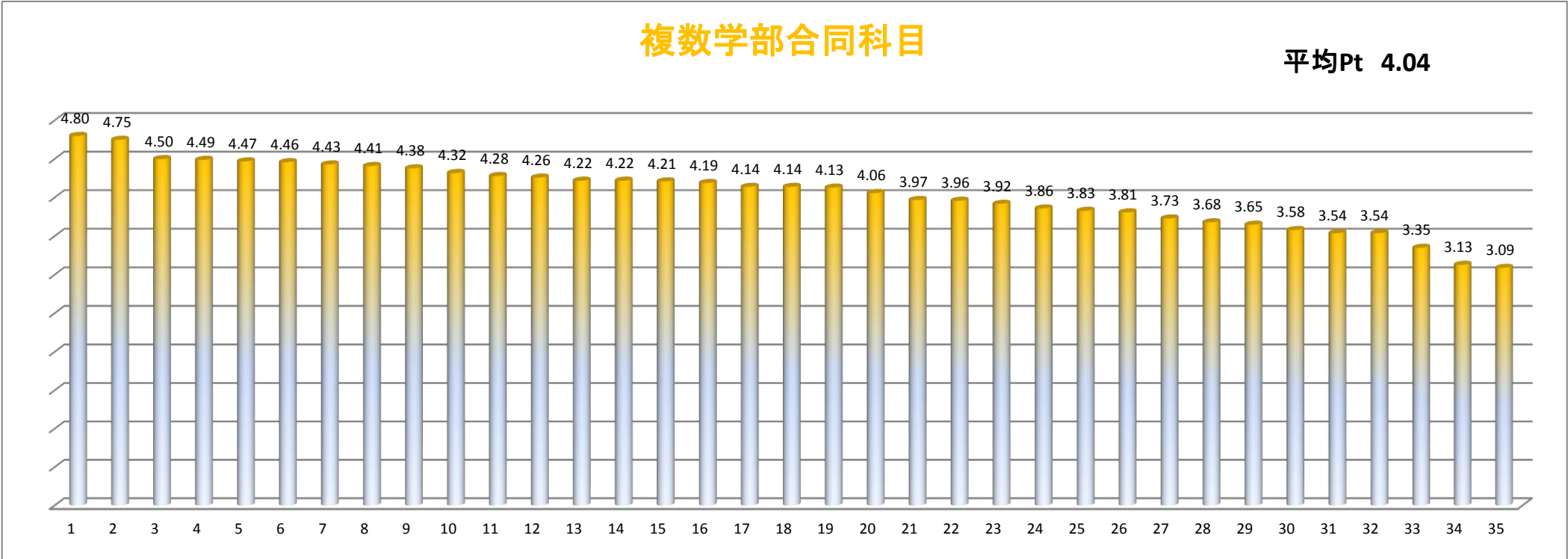
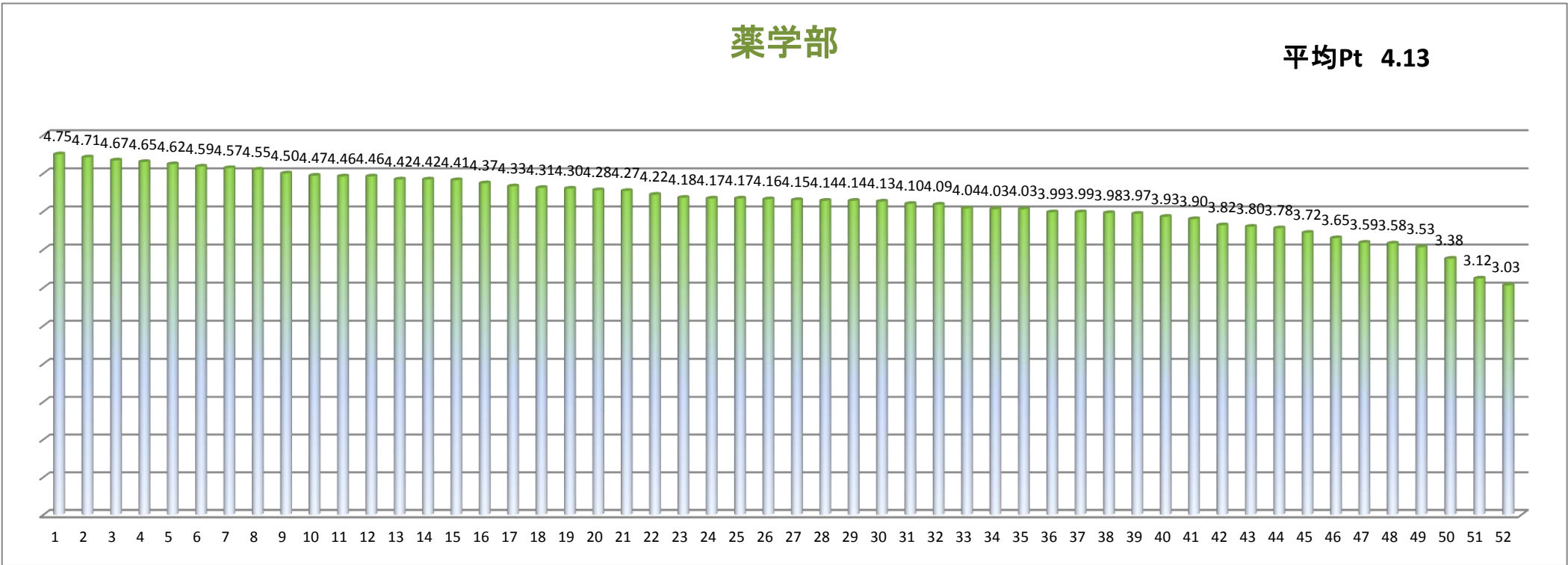
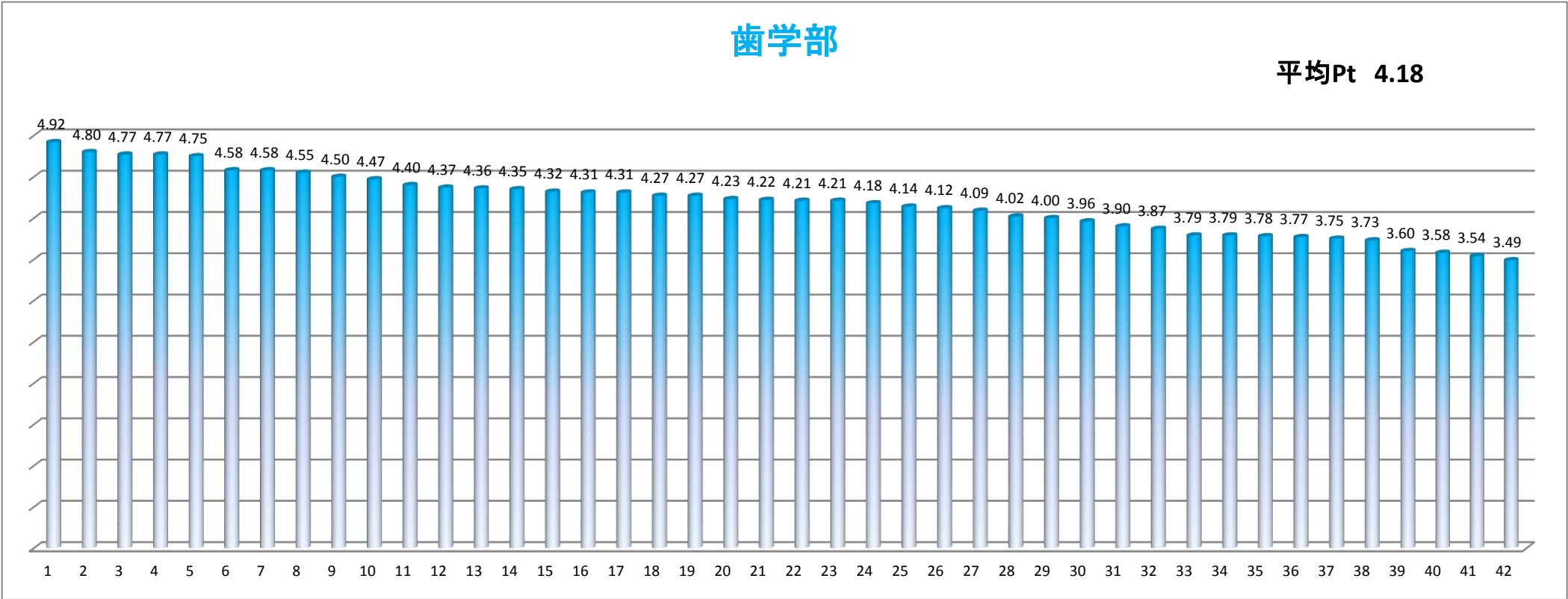
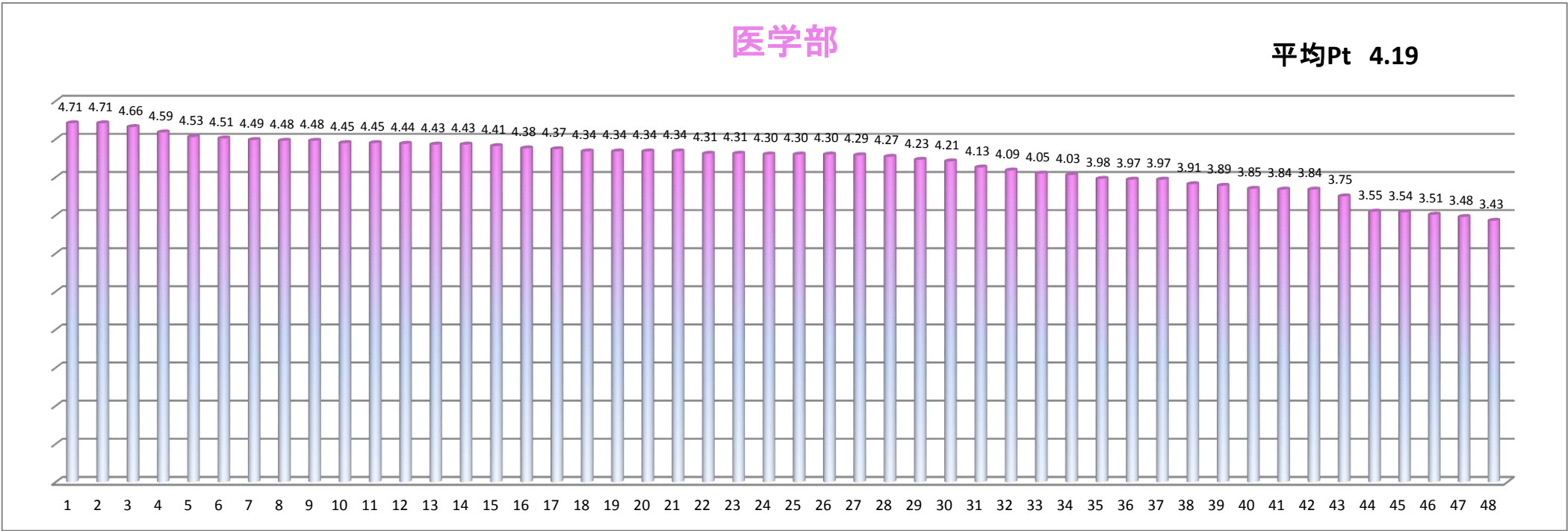
□学部別総合評価ポイント

□評価人数と総合評価ポイントの相関

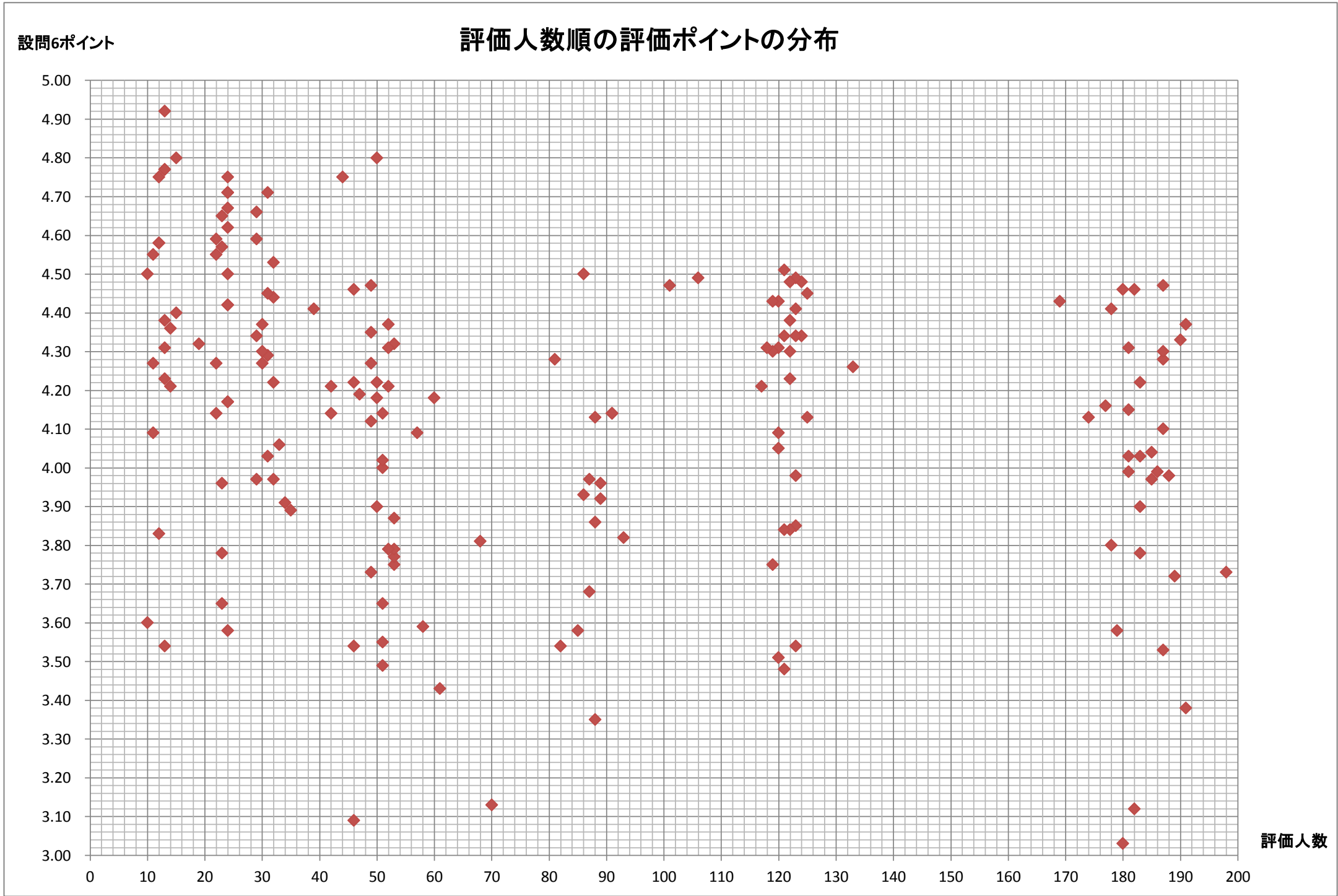
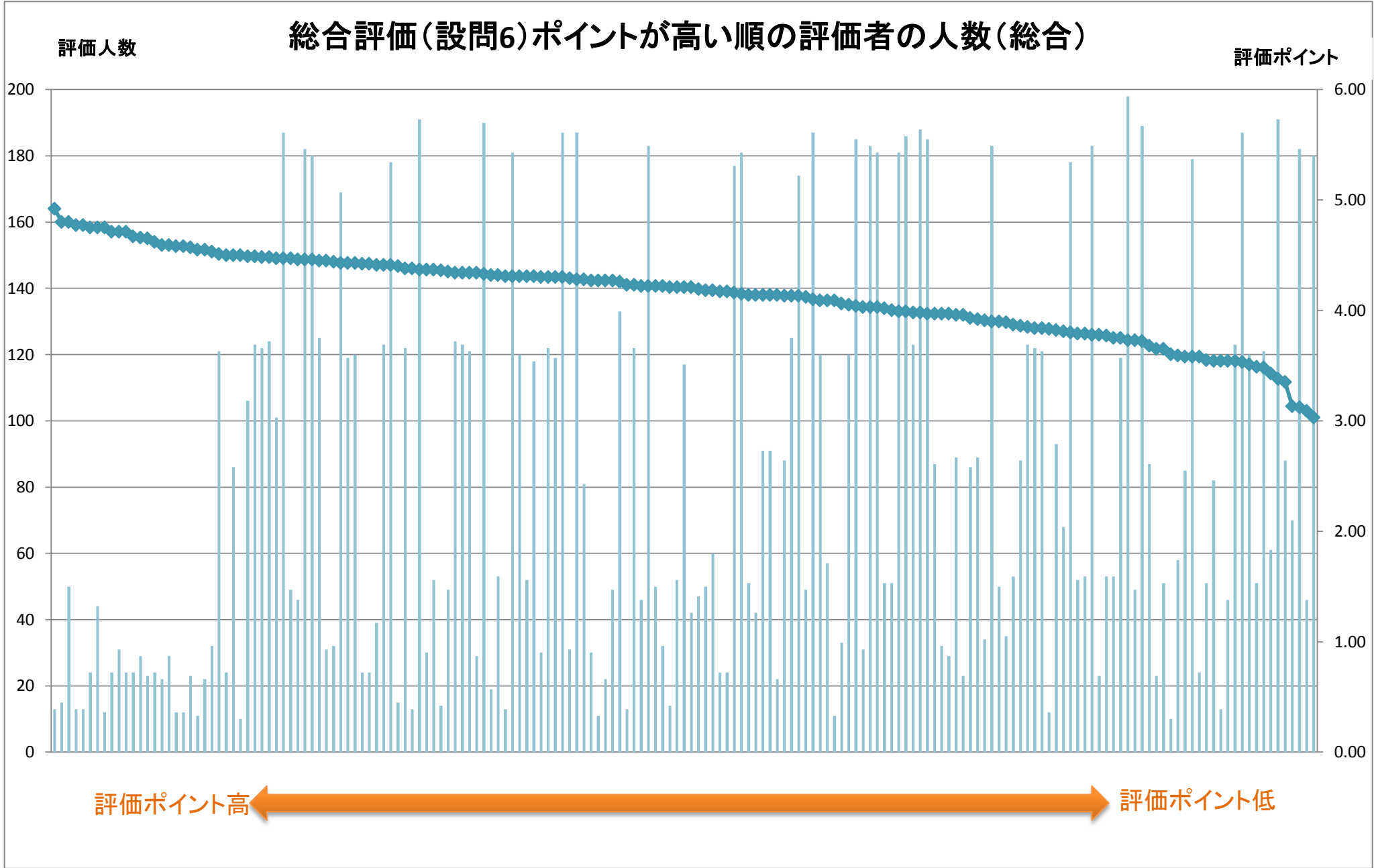
□総合評価ポイント分布

学部別 総合評価（設問6）ポイント【総合】

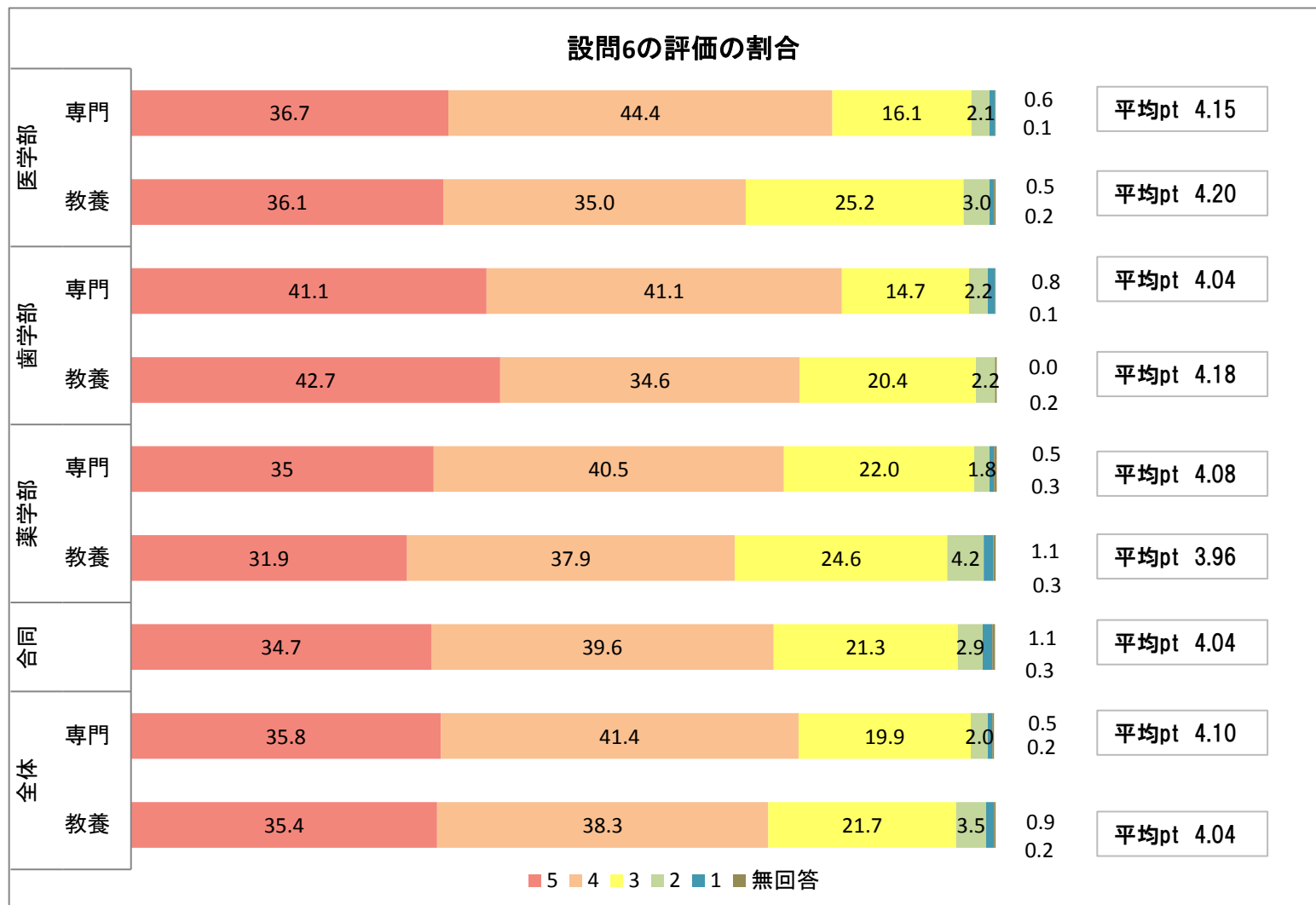
全体平均Pt. 4.14



評価人数と総合評価（設問6）ポイントの相関



総合評価（設問6）評価の分布



評価		医学部		歯学部		薬学部		合同	全体	
		専門	教養	専門	教養	専門	教養		専門	教養
5	人数（人）	1,024	524	293	253	1,108	1,049	840	2,425	1,826
	%	36.7	36.1	41.1	42.7	35.0	31.9	34.7	35.8	35.4
4	人数（人）	1,240	524	284	205	1,280	1,244	960	2,804	1,973
	%	44.4	35.0	41.1	34.6	40.5	37.9	39.6	41.4	38.3
3	人数（人）	450	187	204	121	695	809	517	1,349	1,117
	%	16.1	25.2	14.7	20.4	22.0	24.6	21.3	19.9	21.7
2	人数（人）	58	28	24	13	56	138	71	138	179
	%	2.1	3.0	2.2	2.2	1.8	4.2	2.9	2.0	3.5
1	人数（人）	16	10	4	0	15	36	26	35	46
	%	0.6	0.5	0.8	0.0	0.5	1.1	1.1	0.5	0.9
無回答 (エラー含)	人数（人）	4	1	2	1	8	10	8	14	12
	%	0.1	0.2	0.1	0.2	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2
合計	人数（人）	2,792	1,274	811	593	3,162	3,286	2,422	6,765	5,153
	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※複数学部合同科目。教養科目のみ。

- 5：非常に良い・強くそう思う
 4：良い・ややそう思う
 3：普通・どちらとも言えない
 2：あまり良くない・あまりそう思わない
 1：悪い・全くそう思わない

参考資料

□評価マークシート

□第1学年授業科目一覧

学生による教員の評価

この調査は、授業をより改善することを目指して実施するものです。得られた情報は授業改善の資料としてのみ用いられ、学生諸君の個人名が開示・閲覧されることはありません。また、成績評定の要因になることもありません。以下の設問に対して、あなたの評価を5段階および記述にて記載してください。

注意事項

- 用紙は破損したり曲げたり汚したりしないでください。
- H B または B の鉛筆を使用してください。
- 機械で読み取るため、マークは例のように完全に塗りつぶしてください。
- 消すときは消しゴムで完全に消してください。

(例)

良いマーク ●

悪いマーク ○ ×

短い

うすい はみだし

授業科目 コード		千	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	科目名						
		百	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	月日・時限						
		十	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	担当教員名						
		一	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	学年・番号・氏名						
月 日	月	十	①										非常に良い	強くそう思う・ 良い	ややそう思う・ 普通	どちらとも言えない・ あまり良くない	あまりそう思わない・ 悪い	全くそう思わない・ 悪く
		一	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨							
		十	①	②	③													
		一	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨							
教 員 コ ー ド		千	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨							
		百	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨							
		十	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨							
		一	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨							
出席番号		百	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨							
		十	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨							
		一	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨							
		一	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨							
I 講義について	問1	講義（実習）はよく準備がなされていたか。											⑤	④	③	②	①	
	問2	講義（実習）の構成と質（程度・内容・量）はどうだったか。											⑤	④	③	②	①	
	問3	学生への接し方はどうだったか。教育に対する熱意が感じられたか。											⑤	④	③	②	①	
	問4	話し方はどうだったか。											⑤	④	③	②	①	
	問5	学習意欲が刺激されたか。											⑤	④	③	②	①	
	問6	この授業に対する総合評価を示してください。											⑤	④	③	②	①	
II 反省自己	問7	自身の受講態度はどうだったか。授業に積極的に参加したか。											⑤	④	③	②	①	
	問8	この科目をこの学年のこの時期に行うことは適切か。 (適切と思う時期があれば、自由記載欄に記入してください)											⑤	④	③	②	①	
III その他 (必要に応じて各 科で設問して)	問9												⑤	④	③	②	①	
	問10												⑤	④	③	②	①	
	問11												⑤	④	③	②	①	
	問12												⑤	④	③	②	①	
	問13												⑤	④	③	②	①	
	問14												⑤	④	③	②	①	
IV 自由記載欄	*書ききれない場合は裏面に記載してください。																	

教員による講義・実習の評価

この調査は、授業をより改善することを目指して実施するものです。得られた情報は授業改善の資料としてのみ用いられ、学生諸君の個人名が開示・閲覧されることはありません。また、成績評定の要因になることもありません。以下の設問に対して、あなたの評価を5段階および記述にて記載してください。

注意事項

- ・用紙は破損したり曲げたり汚したりしないでください。
- ・HBまたはBの鉛筆を使用してください。
- ・機械で読み取るため、マークは例のように完全に塗りつぶしてください。
- ・消すときは消しゴムで完全に消してください。

(例)

良いマーク



短い

うすい はみだし

悪いマーク



授業科目 コード	千	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	百	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	十	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	一	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
月 日	月	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	日	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	十	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	一	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
教 員 コ ー ド	千	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	百	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	十	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	一	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
出席番号	百	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	十	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	一	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	一	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

科目名

月日・時限

氏名

非常に良い

強くそう思う・

ややそう思う・良い

普通

どちらとも言えない・

あまり良くない

あまりそう思わない・

悪い

全くそう思わない・

I 講義について	問1 講義・実習の準備は充分であったか。	⑤	④	③	②	①
	問2 要点をわかりやすく教授・指導できたか。	⑤	④	③	②	①
	問3 学生の理解度に注意を払い、意欲的に指導を行ったか。	⑤	④	③	②	①
	問4 話し方は適切だったか。	⑤	④	③	②	①
	問5 学生の学習意欲を刺激できたか。	⑤	④	③	②	①
	問6 この授業に対する総合評価を示してください。	⑤	④	③	②	①
II 学生について	問7 学生の受講態度はどうだったか。	⑤	④	③	②	①
III その他 (必要に応じて各科で設問して)	問8	⑤	④	③	②	①
	問9	⑤	④	③	②	①
	問10	⑤	④	③	②	①
	問11	⑤	④	③	②	①
	問12	⑤	④	③	②	①
	問13	⑤	④	③	②	①
	問14	⑤	④	③	②	①
IV 自由記載欄	*書ききれない場合は裏面に記載してください。					

学生による科目全体の評価

この調査は、授業をより改善することを目指して実施するものです。得られた情報は授業改善の資料としてのみ用いられ、学生諸君の個人名が開示・閲覧されることはありません。また、成績評定の要因になることもありません。以下の設問に対して、あなたの評価を5段階および記述にて記載してください。

注意事項

- 用紙は破損したり曲げたり汚したりしないでください。
- HBまたはBの鉛筆を使用してください。
- 機械で読み取るため、マークは例のように完全に塗りつぶしてください。
- 消すときは消しゴムで完全に消してください。

(例)

良いマーク ●

短い

うすい はみだし

悪いマーク ○ ✕ ◯ ~~○~~

授業科目 コード	千	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	百	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	十	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	一	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
月 日	月	①
	一	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	日	① ② ③
	一	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
評価 コード	千	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	百	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	十	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	一	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
出席番号	百	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	十	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	一	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
	一	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

科目名
学年・番号
氏名

非常に良い・多い	強くそう思う・やや多い	ややそう思う・良い・	普通・適当	どちらとも言えない・	あまりそう思わない・あまり良くない・やや少ない	悪い・少ない	全くそう思わない・
----------	-------------	------------	-------	------------	-------------------------	--------	-----------

I 講義について	問1 内容量に対する時間数は多かったか少なかったか。	⑤	④	③	②	①
	問2 科目全体は系統だったか。	⑤	④	③	②	①
	問3 全体を通して、講師の質・講義に対する姿勢は良かったか。(良い・悪い教員について具体的氏名が挙げられる場合は自由記載欄に記入してください。)	⑤	④	③	②	①
	問4 最新の知見・知識に触れることができたか。	⑤	④	③	②	①
	問5 資料は適切だったか。(良い・悪い具体的事例が挙げられる場合は自由記載欄に記入してください。)	⑤	④	③	②	①
	問6 この科目をこの学年のこの時期に行う事は適切か。(不適切と思う場合は、どこで行うのが効果的と思うかをできるだけ自由記載欄に記入してください。)	⑤	④	③	②	①
	問7 この科目の総合的な評価を示してください。	⑤	④	③	②	①
II 自己反省	問8 科目全体の統合した知識が身についたか。	⑤	④	③	②	①
	問9 講義(実習)に積極的に参加したか。	⑤	④	③	②	①
	問10 予習・復習を行ったか。	⑤	④	③	②	①
III その他 (必要に応じて各科で設問してください。)	問11	⑤	④	③	②	①
	問12	⑤	④	③	②	①
	問13	⑤	④	③	②	①
	問14	⑤	④	③	②	①
IV 記載欄 自由	*書ききれない場合は裏面に記載してください。					

平成26年度 第1学年授業科目一覧

医学部(教養)	歯学部(教養)	薬学部(教養)
科目名	科目名	科目名
カウンセリング論	心理学	生命倫理学
心理学	健康運動科学	アカデミックリテラシー
健康運動科学	数理統計学	法学
数理統計学	専門課程への化学	心理学
専門課程への化学	専門課程への生物学	基礎数学
English Reading & Writing	English Reading & Writing	基礎物理学
English Speaking & Listening	English Speaking & Listening	物理学実習
		情報科学
		情報科学演習
		基礎化学
		化学実習
		基礎生物学
		生物学実習
		エッセンシャル生物
		English Reading & Writing
		English Speaking & Listening
		健康運動科学
		フィットネスとスポーツ

合計32科目

複数学部合同科目

科目名	科目名	科目名
生命倫理学	アドバンスト化学	自然・文化人類学
アカデミックリテラシー	ベーシック数学	医療とスポーツ
法学	基礎数学演習	ベーシック化学
心理学	医療と物語	現代社会と法律
情報リテラシー	学びのための知的技法	英米文化考
物理	ベーシック物理	パーソナリティ心理学
物理実習	医療における社会・行動科学	医療とコミュニケーション
化学実習	科学英語	力学と電磁気学
生物実習	文学の世界	哲学の世界
エッセンシャル生物	実践英語	医療と法律
健康運動科学	ベーシック生物	問題基盤型学習(医)
フィットネスとスポーツ	アドバンスト生物	問題基盤額学習(歯)
		問題基盤型学習(薬)

合計37科目

医学部(専門)	歯学部(専門)	薬学部(専門)
科目名	科目名	科目名
基礎組織学	歯科医学概論	基礎薬学1
分子医化学Ⅰ	基礎歯科学入門	基礎薬学2
医科生理学	解剖学	基礎薬学3
医療入門	組織学	基礎薬学4
細胞生物学Ⅰ	生理学	薬学入門
細胞生物学Ⅱ	生化学	分析科学入門
骨学	臨床歯科学入門	有機化学入門
基礎微生物学・基礎免疫学		細胞生物学入門
		生化学入門
		くすり600選を学ぶ

合計25科目

総計94科目

